

1 調査名称：海南省都市計画道路網見直し調査業務

2 調査主体：海南省

3 調査圏域：海南省 市内 一円

4 調査期間：平成 27 年度

5 調査概要：海南省の都市計画道路は、調査当時、32 路線 54.7 k mが都市計画決定されており、そのうち約 2 割にあたる 12.7 k m（7 路線）は、昭和 56 年の都市計画決定以降、未着手のままとなっていた。

将来人口や自動車交通量は、今後、都市計画決定された当時とは異なり縮小基調を辿ることが予想され、このような想定に立てば、未着手となっている都市計画道路の事業化・完成までの長期化は避けられず、建築制限がさらに長期にわたることが見込まれるため、選択と集中による効率的な道路整備を進めていくための見直しとして、道路網や路線の位置付けや機能、必要性等を検証するもの。

I 調査概要

1 調査名称：海南省都市計画道路網見直し調査業務

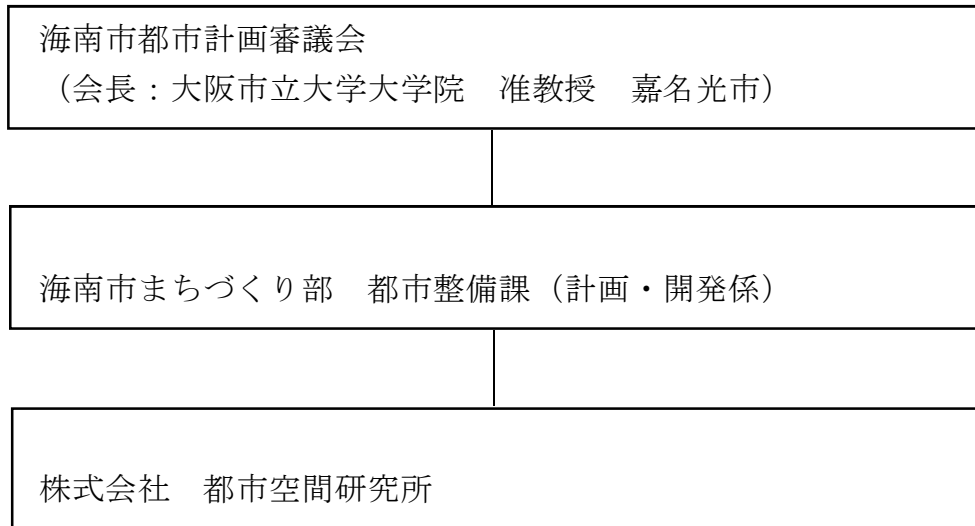
2 報告書目次

1. 業務の目的と内容	1
1.1. 業務の目的	1
1.2. 業務内容	1
2. 廃止路線・存続路線の決定	3
2.1. 見直し対象路線の抽出評価	3
2.2. 都市計画道路網の検証	4
2.2.1. 道路交通の現況把握と課題の整理	4
2.2.1.1. 海南省の人口	4
2.2.1.2. 海南省の自動車発生集中交通量	4
2.2.1.3. 海南省の主要路線の断面交通量	4
2.2.1.4. 現況交通量の観測調査	6
2.2.2. 交通量推計基礎データ作成	18
2.2.2.1. 交通量配分の概要	18
2.2.2.2. 交通量配分的前提条件	18
2.2.2.3. 交通量配分手法	24
2.2.3. 現況交通量配分と検証	30
2.2.3.1. 現況交通量配分結果	30
2.2.3.2. 現況再現性の検証	33
2.2.4. 将来交通量配分	35
2.2.4.1. 交通量推計ケースの設定	35
2.2.4.2. 将来交通量推計結果	36
2.2.5. 交通特性の分析	45
2.2.5.1. 船尾藤白線②	45
2.2.5.2. 黒江且来線⑦⑧⑨	48
2.2.5.3. 日方大野中線⑪⑫⑬	51
2.2.5.4. 船尾黒江線⑱⑳	54
2.2.6. 都市計画道路再編に関わる検討	57

2.3.	都市計画道路網見直し案	67
2.3.1.	存続路線	67
2.3.1.1.	①区間 船尾藤白線	67
2.3.1.2.	③区間 岡田大野中線	68
2.3.1.3.	④区間 岡田大野中線	69
2.3.1.4.	⑤区間 岡田大野中線	70
2.3.1.5.	⑩区間 日方大野中藤白線	71
2.3.1.6.	⑭区間 日方井田線	72
2.3.1.7.	⑮区間 日方井田線	73
2.3.1.8.	⑰区間 日方鳥居線	74
2.3.1.9.	⑲区間 船尾黒江線	75
2.3.2.	廃止候補	76
2.3.2.1.	②区間 船尾藤白線	76
2.3.2.2.	⑥区間 岡田大野中線	77
2.3.2.3.	⑦区間 黒江且来線	78
2.3.2.4.	⑧区間 黒江且来線	79
2.3.2.5.	⑨区間 黒江且来線	80
2.3.2.6.	⑪区間 日方大野中藤白線	81
2.3.2.7.	⑫区間 日方大野中藤白線	82
2.3.2.8.	⑬区間 日方大野中藤白線	83
2.3.2.9.	⑰区間 日方鳥居線	84
2.3.2.10.	⑱区間 船尾黒江線	85
2.3.2.11.	⑳区間 船尾黒江線	86
3.	交通量調査	87
3.1.	交通量調査の概要	87
3.1.1.	調査日・時間帯	87
3.1.2.	調査内容	87
3.1.3.	調査地点	88
3.2.	調査結果	99
3.2.1.	No.1 岡田 588 交差点	99
3.2.2.	No.2 船尾 152 交差点	104
3.2.3.	No.3 城山トンネル南交差点_150722	110
3.2.4.	No.4 海南港交差点	118
3.2.5.	No.5 築地交差点	124
3.2.6.	No.6 藤白交差点	129
3.2.7.	No.7 井田交差点	134
3.2.8.	No.8 大野中交差点	140

3.2.9. No.9 (仮) 海南東 IC 出口交差点	146
3.2.10. No.10 亀川郵便局北交差点	152
3.3. 調査実施状況	158
3.3.1. ミーティング状況	158
3.3.2. 調査実施状況	159

3 調査体制

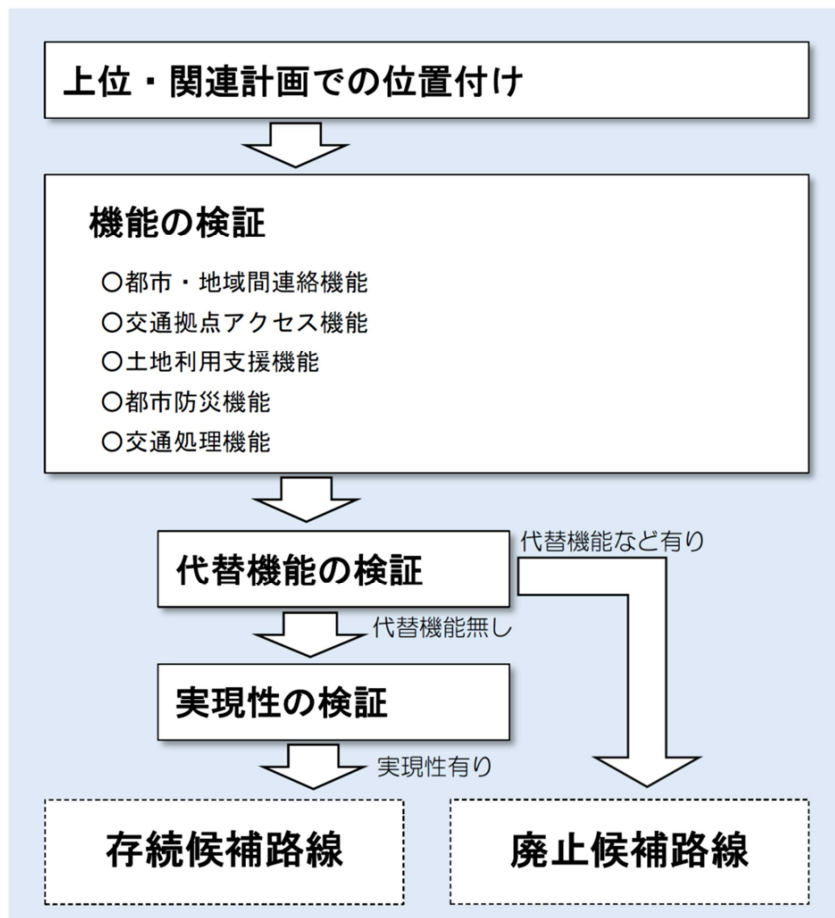


4 委員会名簿等：

海南市都市計画審議会

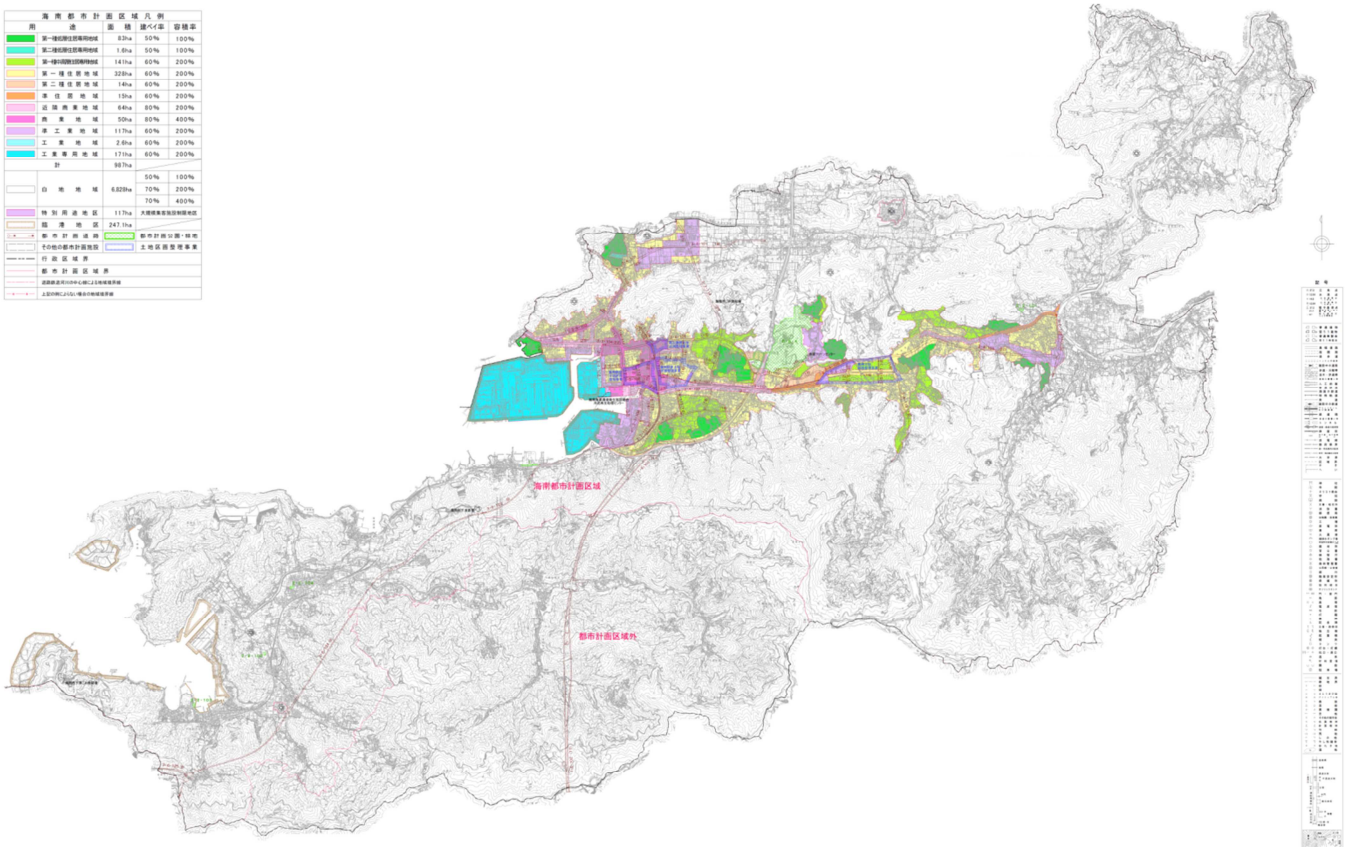
	所 属	役職等	氏 名
会 長	大阪市立大学大学院	准教授	嘉名 光市
委 員	海南市議会	市議会議員	黒木 良夫
委 員	海南市議会	市議会議員	美ノ谷 徹
委 員	海南市議会	市議会議員	岡 義明
委 員	自治会連絡協議会	会長	協所 武夫
委 員	下津町商工会	副会長	佐々木 雄一
委 員	海南商工会議所	会頭	上中 嗣郎
委 員	女性参画		東 美智
委 員	和歌山県建築士会 海草支部	支部長	田中 茂雄
委 員	農業委員会	会長	櫻根 進
委 員	ながみね農業協同組合	組合長	次本 圭吾
委 員	若者代表		岩本 隆成
委 員	海草振興局建設部	参事	鉄尾 義治
委 員	海南警察署	署長	島 泰弘

2 調査フロー



3 調査圏域図

用途	面積	調査率	容積率
第一種住居地域	2,20ha	50%	100%
第二種住居地域	1,80ha	50%	100%
第一種商業地域	14,10ha	60%	200%
第二種商業地域	1,80ha	60%	200%
準住居地域	130ha	60%	200%
近隣商業地域	640ha	80%	200%
商業地域	500ha	80%	400%
準工業地域	11,70ha	60%	200%
工業地域	2,80ha	60%	200%
工業専用地域	17,70ha	60%	200%
計	98,70ha		
空白地		50%	100%
自然地域	6,820ha	70%	200%
特別用途地区	11,70ha	70%	400%
臨港地区	247,10ha		
都市計画道路			都市計画道路一般地
市街地調整計画地区			土地収用調整事業
行政区域界			
都市計画区域界			
道路法第104条第1項に準ずる境界			
▲ 市街地調整計画地区(都市計画道路)			



4 調査成果

検証(1) 上位・関連計画の位置付けの確認

海南市都市計画マスタープランにより、複数の市町村間を広域的にネットワークする「広域幹線道路」に位置づけられているかを確認した。また、位置づけられている場合は、存続候補路線として、手順により総合的に検証した。

広域幹線道路・・・広域交通、都市間交通、新幹道路計画路線



出典 海南市都市計画マスタープラン(P31)

検証（２） 機能の検証

各路線・区間において、都市・地域間連絡機能など5つの項目により検証した。

また、各路線・区間が機能を有する場合は、存続候補路線として、手順により総合的に検証した。

検証項目	内容
1) 都市・地域間連絡機能（路線）	<ul style="list-style-type: none">○都市・地域間を連絡する機能<ul style="list-style-type: none">・和歌山市と連絡している・市内の主要エリア(都市拠点、生活拠点)を連絡している
2) 交通拠点アクセス機能（路線）	<ul style="list-style-type: none">○交通拠点にアクセスする機能<ul style="list-style-type: none">・海南 IC、海南東 IC にアクセスしている・海南港にアクセスしている・海南駅、黒江駅にアクセスしている
3) 土地利用支援機能（区間）	<ul style="list-style-type: none">○主要施設にアクセスする機能<ul style="list-style-type: none">・公共施設（市役所、警察署、消防署、海南医療センター等）にアクセスしている・集客施設（わんぱく公園、総合体育館、県立自然博物館、和歌山マリーナシティ等）にアクセスしている○沿道利用を促進する機能<ul style="list-style-type: none">・開発プロジェクト(駅東土地区画整理事業)にアクセスしている・主要エリア（都市拠点、生活拠点）にアクセスしている
4) 都市防災機能（区間）	<ul style="list-style-type: none">○緊急輸送道路の機能<ul style="list-style-type: none">・和歌山県緊急輸送道路に指定された区間である○防災拠点にアクセスする機能<ul style="list-style-type: none">・防災拠点（市役所、総合体育館、消防署、海南医療センター）にアクセスしている
5) 交通処理機能（区間）	<ul style="list-style-type: none">○将来道路網の渋滞予測<ul style="list-style-type: none">・対象路線を廃止した場合、周辺道路に深刻な渋滞を引き起こす可能性がある

検証（３） 代替機能の検証

対象路線において、検証手順（２）における機能を有する現道が対象路線（区間）の近傍に存在しないか確認した。対象路線（区間）の近傍に存在しない場合は、存続候補路線として、手順により総合的に検証した。

検証（４） 実現性の検証

存続候補とする路線については、施工上支障となり得る物件等を考慮した法線であるか、また、長期にわたる建築制限はできる限り避けるよう、一定期間内に事業着手が見込めるかどうかを検証した。

その他

存続候補路線の変更案の検討

今後事業着手までの間に、地域の課題や周辺状況により求められている道路の機能等を勘案し、必要に応じ、法線の変更や将来交通量に適した幅員及び車線数を検討した。

廃止候補路線の改良案の検討

路線を廃止する場合、各路線や区間が備える機能を維持するため、代替え路線の選定や、各路線や区間における改良策を検討した。

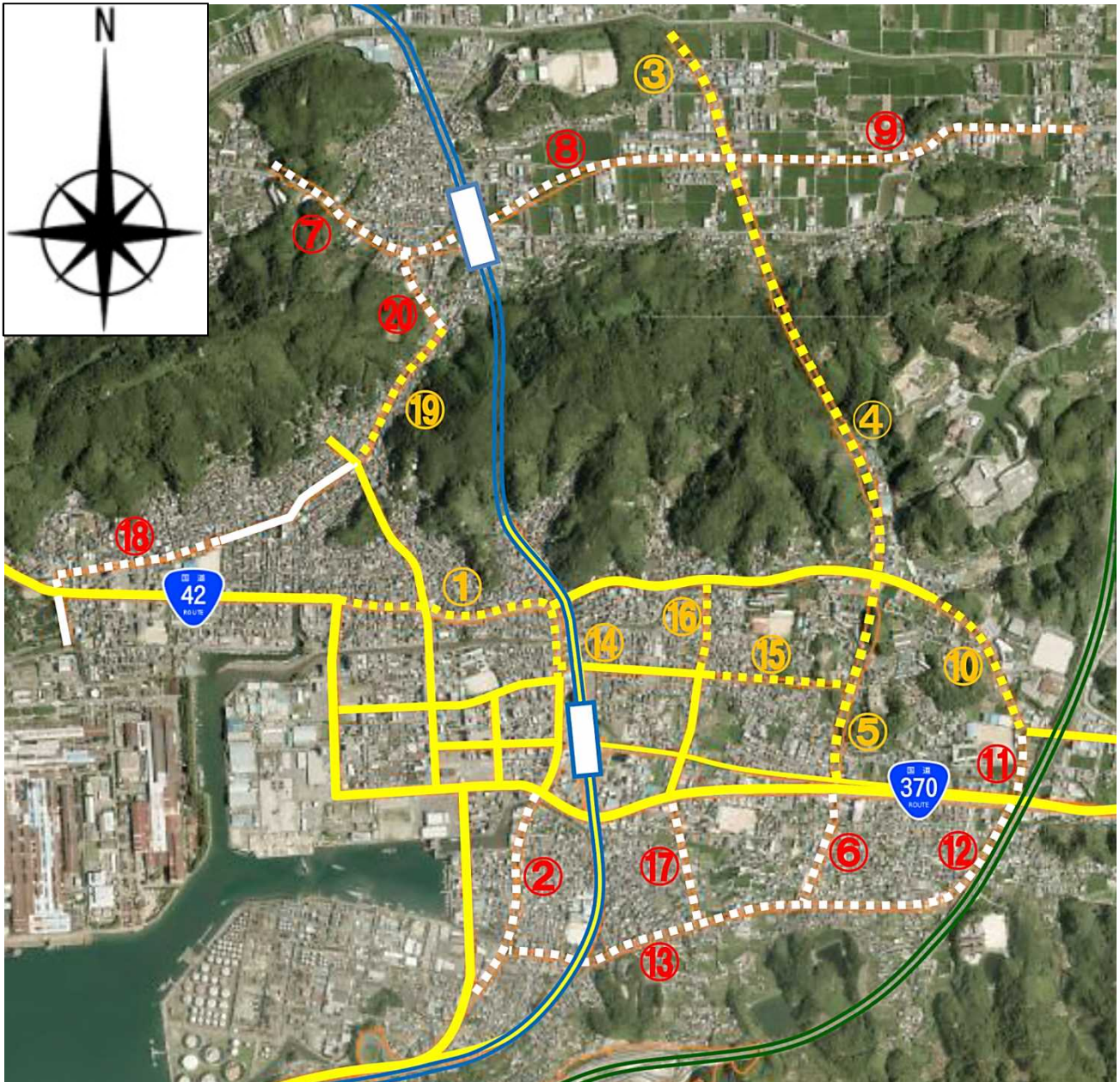
1) 機能確保のための代替え路線の選定

2) 機能確保のための改良策の検討

機能	機能確保のための改良例
都市・地域間連絡機能	<円滑な交通> ・必要な幅員への拡幅 ・隅切り、待避所の整備 等
交通拠点アクセス機能 土地利用支援機能	<アクセス性の向上> ・主要施設へのアクセス道路の整備 等
都市防災機能	<緊急輸送機能の確保、アクセス性の向上> ・一定の幅員の確保 ・防災拠点施設へのアクセス道路の整備 等

見直し案

以上の検証を基に検討を行い、未着手路線の存続・廃止を決定した。



凡	例
改良済・事業中	
存続区間（案）	
廃止区間（案）	（改良済）
	（未着手）
高速道路	
鉄道	

【存続とする路線(区間)】

区間 番号	路線名	幅員	区間 延長	区 間		存続 理由
				起 点	終 点	
①	船尾藤白線	22m	1,020m	海南郵便局前	グランドハイツ日方前	A
③	岡田大野中線	25m	2,580m	尼久仁橋付近	県道岩出海南線	A
④		25m		県道岩出海南線	井田交差点付近	A
⑤		25m		井田交差点付近	大野中交差点	A
⑩	日方大野中藤白線	18m	540m	海南保健所付近	海南東IC付近	A
⑭	日方井田線	16m	70m	海南中央市場付近	駅東区画整理地区	B
⑮		16m	440m	駅東区画整理地区	くるみ保育所付近	B
⑯	日方鳥居線	16m	300m	共栄橋	駅東区画整理地区	B
⑲	船尾黒江線	11m	540m	紀陽銀行海南支店前	県道岩出海南線	B
計			5,490m			

存続とする理由

- A. 都市計画マスタープランにおいて広域幹線道路として整備方針を位置付けている
- B. 現道や代替路線では都市計画道路の整備目的や機能を確保できない

【廃止とする路線(区間)】

区間 番号	路線名	幅員	区間 延長	区 間		廃止 理由
				起 点	終 点	
②	船尾藤白線	20m	710m	浜橋	藤白交差点	C
⑥	岡田大野中線	18m	420m	大野中交差点	(都)日方大野中藤白線	D
⑦	黒江且来線	18m	2,790m	県道和歌山海南線	JR黒江駅	C
⑧		18m		JR黒江駅	二ツ池付近	C
⑨		18m		二ツ池付近	亀川バス停付近	C
⑪	日方大野中藤白線	18m	2,050m	海南東IC付近	薬師谷バス停付近	C
⑫		18m		薬師谷バス停付近	(都)岡田大野中線	D
⑬		18m		(都)岡田大野中線	爪書延命地藏尊付近	D
⑰	日方鳥居線	12m	410m	沖葬祭付近	(都)日方大野中藤白線	D
⑱	船尾黒江線	11m	(1,280m)	琴の浦交差点	黒江小学校東側	C
		~ 16m		琴の浦橋	紀陽銀行海南支店前	
⑳		11m	240m	県道岩出海南線	室山保育所付近	C
計			7,200m			

※ ⑱船尾黒江線の下段は、改良済部分も含めた廃止区間に関する表記

廃止とする理由

- C. 現道や代替路線により都市計画道路の整備目的や機能が既に確保されている
- D. 都市計画道路としてではなく、現道や代替道路を部分的に改良することが効果的・効率的である